



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社

コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 和伸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務管理本部長

(氏名) 中村 正行

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 0475-26-0160
平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	32,308	△8.0	△96	—	△1,155	—	△1,835	—
28年3月期第2四半期	35,131	2.2	654	△36.9	976	△54.2	190	△83.9

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △6,553百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △2,785百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△43.20	—
28年3月期第2四半期	4.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	137,073	121,167	82.0
28年3月期	146,312	129,238	81.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 112,451百万円 28年3月期 119,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
29年3月期	—	14.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	74.00	88.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期以降、平成31年3月期までの3年間にわたり、期末の普通配当に加えて、1株あたり60円の特別配当を継続的に実施する方針です。
(ただし、各期終了後に開催される定時株主総会での決議を条件とします。)

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	65,800	△5.8	600	△59.8	△400	—	△1,800	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	43,886,739 株	28年3月期	43,886,739 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,465,848 株	28年3月期	1,085,611 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	42,501,556 株	28年3月期2Q	43,607,520 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、当社製品の需給の急速な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動および日本の証券・株式相場の変動など様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は堅調な個人消費に支えられ景気回復基調が続いており、欧州でも景気は緩やかに回復していますが、中国経済の成長ペースの鈍化や資源価格の下落を背景に新興国・資源国経済の低迷が続いています。

一方、国内経済は緩やかな回復基調が続いていますが、英国のEU離脱問題や金融資本市場の変動の影響など、景気の下振れリスクの増大が懸念される状況となりました。また、当社事業に影響する四輪車の国内生産台数は、熊本地震や燃費不正問題の影響等から、やや低調な結果となりました。

このような状況のなか、当社グループは、電子部品事業のタッチパネルや生産器材事業のプレート製品の販売拡大に注力するとともに、その他の製品についても、売上げの拡大と収益力の改善に努めてきました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は323億8百万円（前年同期比8.0%減）となりました。このうち海外売上高は205億円（前年同期比5.6%減）となり、国内売上高は118億7百万円（前年同期比12.0%減）となりました。

収益面では、営業損益は9千6百万円の損失（前年同期は営業利益6億5千4百万円）、経常損益は11億5千5百万円の損失（前年同期は経常利益9億7千6百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損益は18億3千5百万円の損失（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億9千万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(単位：百万円)

セグメント名称	前第2四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	当第2四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	増減率(%)
電子部品事業	13,805	13,701	△0.8
電子機器事業	4,133	3,496	△15.4
生産器材事業	17,192	15,110	△12.1
合計	35,131	32,308	△8.0

① 電子部品事業

蛍光表示管は、自動車向けを中心とした需要の減少傾向が続いており、また、蛍光表示管モジュールも主力のPOS用途や自動車用途向けが伸び悩んだことから、売上げは前年同期を下回りました。

有機ELディスプレイは、車載用途は堅調に推移しましたが、ウェアラブル製品向けなどの通信機器用途が需要低迷の影響を受け、売上げは前年同期を下回りました。

また、タッチパネルは、主な用途である車載用途において採用車種が順調に拡大し続けており、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は137億1百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

② 電子機器事業

ホビー用ラジコン機器は、米国を中心に市場が低迷したことから、売上げは前年同期を下回りました。ロボット用機能部品は、主要販売先である大手パートワーク（分冊百科）販売会社向けのコマンド方式サーボの需要が一段落したことから、売上げは前年同期を大きく下回りました。

また、産業用ラジコン機器は、F A（生産関連）向けは順調に推移しましたが、農業関連向けが鈍化したことなどから、売上げは前年同期並みとなりました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は34億9千6百万円（前年同期比15.4%減）となりました。

③ 生産器材事業

国内では、ホットランナ、電極成形システムなどの成形合理化機器が前年同期を上回ったものの、プレスおよびモールド金型用器材などが伸び悩んだことから、売上げは前年同期を下回りました。

海外では、主力の韓国において、スマートフォン向けや自動車向けが市場低迷の影響を受けて弱含んだことなどから、売上げは前年同期をやや下回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は151億1千万円（前年同期比12.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ92億3千8百万円減少し1,370億7千3百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金や退職給付に係る負債の減少などにより、前連結会計年度末に比べ11億6千7百万円減少し159億6百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定や利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ80億7千1百万円減少し1,211億6千7百万円となりました。この結果、自己資本比率は82.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成28年8月5日に公表しました業績予想を修正しています。

詳細につきましては、本日（平成28年11月9日）公表の「第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異、通期連結業績予想の修正および営業外費用の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

当社および国内連結子会社は、法人税制の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

（2）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,534	55,455
受取手形及び売掛金	18,151	16,453
有価証券	803	163
商品及び製品	4,079	3,575
仕掛品	2,810	2,545
原材料及び貯蔵品	6,812	6,128
その他	1,398	1,225
貸倒引当金	△307	△382
流動資産合計	92,282	85,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,223	12,481
機械装置及び運搬具(純額)	8,134	7,639
工具、器具及び備品(純額)	706	756
土地	17,392	17,024
リース資産(純額)	115	117
建設仮勘定	1,028	1,508
有形固定資産合計	40,599	39,528
無形固定資産	1,030	890
投資その他の資産		
投資有価証券	11,056	10,212
その他	1,582	1,518
貸倒引当金	△240	△243
投資その他の資産合計	12,399	11,488
固定資産合計	54,029	51,907
資産合計	146,312	137,073

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,135	4,772
未払費用	3,112	3,010
未払法人税等	400	383
賞与引当金	878	891
その他	1,562	1,181
流動負債合計	11,088	10,241
固定負債		
繰延税金負債	676	616
役員退職慰労引当金	91	98
退職給付に係る負債	4,953	4,702
その他	264	247
固定負債合計	5,985	5,665
負債合計	17,073	15,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,594	21,594
利益剰余金	82,108	79,655
自己株式	△2,080	△2,732
株主資本合計	124,181	121,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	833	581
為替換算調整勘定	△2,484	△6,770
退職給付に係る調整累計額	△2,854	△2,435
その他の包括利益累計額合計	△4,505	△8,625
非支配株主持分	9,562	8,715
純資産合計	129,238	121,167
負債純資産合計	146,312	137,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	35,131	32,308
売上原価	28,088	25,972
売上総利益	7,042	6,335
販売費及び一般管理費	6,387	6,432
営業利益又は営業損失(△)	654	△96
営業外収益		
受取利息	159	112
受取配当金	139	127
その他	146	75
営業外収益合計	445	315
営業外費用		
為替差損	20	1,285
その他	102	89
営業外費用合計	122	1,375
経常利益又は経常損失(△)	976	△1,155
特別利益		
固定資産売却益	29	7
特別利益合計	29	7
特別損失		
固定資産売却損	32	8
固定資産廃棄損	13	13
投資有価証券評価損	-	94
減損損失	33	3
災害による損失	-	12
特別退職金	-	64
特別損失合計	79	196
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	926	△1,344
法人税、住民税及び事業税	411	342
法人税等調整額	18	40
法人税等合計	430	382
四半期純利益又は四半期純損失(△)	496	△1,727
非支配株主に帰属する四半期純利益	306	108
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	190	△1,835

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	496	△1,727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△455	△309
為替換算調整勘定	△2,601	△4,947
退職給付に係る調整額	△225	430
その他の包括利益合計	△3,282	△4,826
四半期包括利益	△2,785	△6,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,417	△5,921
非支配株主に係る四半期包括利益	△367	△632

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	926	△1,344
減価償却費	1,961	1,574
減損損失	33	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19	99
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	131	△142
賞与引当金の増減額(△は減少)	△222	29
受取利息及び受取配当金	△298	△240
為替差損益(△は益)	△176	669
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	16	14
投資有価証券評価損益(△は益)	6	91
災害による損失	-	12
特別退職金	-	64
売上債権の増減額(△は増加)	556	714
たな卸資産の増減額(△は増加)	△72	510
仕入債務の増減額(△は減少)	343	618
その他	268	338
小計	3,454	3,012
利息及び配当金の受取額	328	227
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△521	△357
法人税等の還付額	38	30
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,297	2,911
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△17,131	△20,344
定期預金の払戻による収入	18,722	18,137
有価証券の売却及び償還による収入	189	42
有形固定資産の取得による支出	△2,487	△2,519
有形固定資産の売却による収入	163	353
投資有価証券の取得による支出	△1,991	△600
投資有価証券の売却及び償還による収入	5	702
貸付けによる支出	△5	△2
貸付金の回収による収入	10	8
その他	△206	△66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,732	△4,289

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△20	△18
自己株式の取得による支出	△1,521	△652
配当金の支払額	△573	△599
非支配株主への配当金の支払額	△261	△160
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,376	△1,430
現金及び現金同等物に係る換算差額	△342	△1,527
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,153	△4,335
現金及び現金同等物の期首残高	42,658	35,463
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	291
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,505	31,420

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,805	4,133	17,192	35,131	—	35,131
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	1	0	2	△2	—
計	13,805	4,134	17,192	35,133	△2	35,131
セグメント利益又は 損失(△)	△903	574	984	654	△0	654

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,701	3,496	15,110	32,308	—	32,308
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	2	0	2	△2	—
計	13,701	3,498	15,110	32,311	△2	32,308
セグメント利益又は 損失(△)	△962	449	415	△97	0	△96

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。